

授業科目	欧米観光文化地理Ⅱ				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21807J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP5-2			
担当教員	友原 嘉彦							
授業概要	この科目では「なんだか懐かしいヨーロッパ」である東欧の観光のあり方について学ぶ。人は東欧の観光地にどのようなことを期待し、どのような観光地に惹かれるのであろうか。観光に注力している国や地域、都市を取り上げ、観光者のニーズや観光地の売り(観光資源)について探っていく。							
学生が達成すべき行動目標	東欧の観光のあり方、端的には域内の観光資源の特徴と各観光地の取り組みについて、これまでに修めた観光学の基礎的知識を活かしながら理解することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	0	40	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			20			20	40	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
東欧の観光のあり方について十分に理解できている。				東欧の観光のあり方について理解できている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・ガイドンス ・観光地としての東欧の概観			講義		復習		60

2	ドイツ新連邦州 1(概要、山岳地方)	講義	復習	60
3	ドイツ新連邦州 2(湖水地方、海岸地方)	講義	復習	60
4	ベルリン	講義	復習	60
5	バルト三国	講義	復習	60
6	ポーランド	講義	復習	60
7	チェコ	講義	復習	60
8	スロヴァキア	講義	復習	60
9	ハンガリー	講義	復習	60
10	旧ユーゴスラヴィア 1(概要、スロヴェニア)	講義	復習	60
11	旧ユーゴスラヴィア 2(クロアチア、ボスニア=ヘルツェゴヴィナ)	講義	復習	60
12	旧ユーゴスラヴィア 3(セルビア、マケドニア)	講義	復習	60
13	ルーマニア	講義	復習	60
14	ブルガリア	講義	復習	60
15	ウクライナとモルドヴァ	講義	復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃より東欧を取り上げた紀行や旅行映画、旅行マンガ、写真集などに触れておくことが望ましい。			
テキスト	レジュメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	東欧に関する各種ガイドブック			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	外国を知ることは自国を知ることに繋がります。この科目を受講して、ぜひいつか東欧に行ってみてください。			
達成度評価に関するコメント	<p>大国に翻弄され続けた東欧は素朴な町並みや人情が残る魅力的な「もう1つのヨーロッパ」です。ぜひ一緒に学びましょう。より理解が進むよう視覚的にも工夫します。</p> <p>達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけでなく、(意義のある)意見を発言してくれたり、過ぎた講義回での項目について復習していることで簡潔にまとめて説明してくれたり、といったことが得点の増加に関係します。一方、これらが不十分なだけでなく、授業を中断せざるをえないほどの声量で授業とは無関係のことについてしゃべっている</p>			